

情報モラル教育 説話集

基本形: 説話を話す⇒説話のネット特性に触れる⇒「インターネットやSNSはよく考えて、よりよく使いましょう」で締める

ネット特性など	属性	題名	説話内容
広める力(流出性) 個人情報保護	悪い	好きな子をばらされちゃった	好きな子をばらされて泣いていた児童がいます。一人に話す人とづてに広まってしまいます。好きな人も個人情報です。これがインターネットならどうでしょう？世界中に広まる恐れがあります。個人情報を広めることは怖いことです。
広める力(流出性) 個人情報保護 日常モラル	悪い	私の図書カードが全国放送！？	ニュース番組に生徒の図書カードが映り込んでしまいました。氏名、学年、本の題名などが全国放送されてしまいました。図書カードの中身も個人情報なのに、テレビ局は配慮が足りませんでした。同じ番組をインターネット放送した時には、モザイク処理で隠しました。情報を広めるときは、内容をよく確認することが大切です。
広める力(流出性)	良い	家族の優しさ 注意を共有	家族からメールが来ました。警察から不審者に注意するようにとのメールが来たので、転送してくれたのです。注意喚起という情報が、わずか数分で人々に広まっていきます。警察が大声で「不審者が出ました」と叫んでも町中には聞こえません。インターネットやSNSには良い情報を広める力があります。
見せる力(公開性) メディアリテラシー	悪い	そのニュース 本当ですか？	twitterで発信された悪ふざけです。実在しない「なめくじ亭」というどん屋さんが、「国際信州学院大学」の職員からドタキャンをされ、多大な被害を被ったというウソのニュースです。ところが、事件を起こしたという国際信州学院大学すら実在しないウソの大学でした。全てがウソのニュースでしたが、被害を受けた人がいます。名前のよく似た信州大学です。インターネットにある情報が全て真実とは限りません。真実とウソを見抜く判断力が必要です。
見せる力(公開性)	良い	素敵な生き物を知るために	日本最小のハッチョウトンボという昆虫の羽化がニュースになりました。インターネットで画像を探すと見つかります。とても小さなトンボです。必要な情報を「見る」ことができるインターネットは、学習を助ける便利な道具です。
見せる力(公開性)	良い	キラキラ輝く虫ってどんな虫？	「せいぼう」という昆虫の新種が見つかりました。キラキラ輝く虫ですが、イメージできますか？イメージが難しいときはどうしましょう？そうです、インターネットで調べてみましょう。金属光沢のある小さな蜂でした。見せたいものを世界に公開する力がインターネットにはあります。
見せる力(公開性) 広める力(流出性)	良い	命を守る ニュースは世界をめぐる	アメリカのニュースです。猛毒のガラガラヘビを見つけて、頭を落として駆除しました。1時間後、蛇を処理しようとしたら頭だけの蛇にかまれて命を落としかけた人が出ました。同じような犠牲者を出さないように蛇の生命力の強さを伝えるニュースが「見せられ」「広まって」いきます。これがインターネットの良さです。
残る怖さ(記録性)	悪い	一生消えない 写真の恐怖	※いわゆるリベンジポルノ話です。この用語を児童に伝える必要はありません。付き合っていた人が恋人と別れてしまいました。腹いせに元恋人の恥ずかしい写真をネットにばらまきました。電子データはコピーし放題なので、一度ネットに出てしまった写真や動画を完全に消すことは不可能です。自分の顔や友達顔の写真データなどの取り扱いには十分注意しましょう。
残す力(記録性)	良い	名誉はネット の中で 輝き続ける	図鑑に掲載されたサメの写真が説明と違った種類であることに気付いた小学生がいました。そのことを出版社に伝えたところ、次の印刷の時には訂正します、感謝していますと報道されました。人に良いことをした活躍がニュースとして残ります。自分にとって誇れることが、ニュースになるといいですね。
繋がる力(即時性)	良い /悪い	その先には 様々な人が いるはず	同じ趣味や友達探しのアプリがあります。瞬時に情報が共有され、友達候補が見つかります。インターネットにはどんな場所でも、どんな国でも、どんな時間でも、誰かとつながる力があります。つながる先が必ず善人とは限りません。悪人とつながる恐れも考え、注意して使わないといけません。

※非対面性については、動画教材などを使用して、指導する。その際にインターネット「のひみつ」という合言葉でまとめると、説話と授業が結び付き、児童の印象にも残りやすい。